第六回高校生国際シンポジウム報告・アンケート結果

基本情報

1　主　催　　一般社団法人 Glocal Academy
2　協　賛　　学校法人福岡雙葉学園理事長，学校法人麻生塾塾長　麻生泰（特別協賛）
　　株式会社 新興出版社啓林館，等
3　後　援　　文部科学省，経済産業省，アメリカ大使館，鹿児島県教育委員会，
　　オックスフォード大学日本事務所
4　テーマ　　「人類の英知の上に立ち，未来を創る」
5　目　的　　日頃の研究成果をスライド発表やポスター発表としてまとめ，生徒が自らの研究成果を発表するとともに，参加者間の交流を深めながら今後の進路選択や社会への理解を深めていく．
6　期　日　　令和 3 年 3 月 24 日（水），3 月 25 日（木）
7　会　場　　オンライン実施（Zoom および Youtube live による配信）
8　日程

【1 日目】　3 月 24 日（水）		【2 日目】　3 月 25 日（木）	
開会行事	9:30～9:50	進行説明	9:00～9:15
基調講演	9:50～10:20	ゲスト講演	9:15～10:00
パネルディスカッション (参加者より質疑応答あり)	10:30～11:40	表彰式・講評（※1）	10:15～11:30
昼食	11:40～12:30	昼食	11:30～12:30
課題研究発表・審査会	12:30～17:40	ワークショップ(※2)	12:30～13:45
第 1 部	(12:30～14:30)	優秀発表・グランプリ発表(※3)	14:00～15:30
第 2 部	(14:40～16:05)	閉会行事	15:30～15:45
第 3 部	(16:15～17:40)		

視聴方法

大会の全内容は以下の URL より視聴可能となっております．また，複製や二次使用はお控え下さい．使用をご希望の際は　info@glocal-academy.or.jp　までお知らせください．

https://www.glocal-academy.or.jp/6thsympo-archive

主催団体について　一般社団法人 Glocal Academy（所在地：鹿児島市）は，社会や学術における諸課題に対して客観的なデータ分析や社会・歴史的背景をもとに解決する事を目的とし，教育支援事業により後進の育成を，コンサルティング事業によりそれら課題に取り組む個人及び団体を支援します．

代表理事　岡本尚也（物理学博士）　鹿児島県出身，慶応義塾大学理工学部卒，同大学院理工学研究科修了，ケンブリッジ大学にて物理学博士号，オックスフォード大学にて現代日本学修士号取得．2018 年米国国務省事業 International Visitor Leadership Program メンバー，　その他文部科学省事業委員等
主な著書：課題研究メソッド（啓林館），東洋経済オンライン英国流創造と学びの技法等．

一般社団法人
Glocal Academy

9　基調講演　　ユキ・近藤・シャー　Yuki Kondo-Shah 氏
在福岡米国領事館 広報担当領事兼　福岡アメリカン・センター 館長　氏

在ボリビア(ラパス) 米国大使館で文化担当官補（2013 年～2015 年)、在中国（北京）米国大使館で副領事（2015 年～2017 年)、ワシントン DC で国務省経済・企業局のパブリック・ディプロマシー担当官（2017 年～2019 年）を務めた。2019 年 8 月に福岡に着任。
日本人とバングラデシュ人の両親の元に生まれ、日本の川崎市とアリゾナ州スコッツデールで育った。ダートマス大学で政治学を専攻、学士号を取得した。英国と中国への留学経験を持つ。また、ハーバード大学ケネディ・スクールで公共政策学修士号を修め、在学中にはジョセフ・ナイ教授と共同で、パブリック・ディプロマシーの成果測定に関する修士論文を執筆した。外交官になる前は、スタンフォード大学の学部生入学事務局で入学担当官を務め、日本や中国からの留学生募集に携わった。
夫も外交官で、2 人の子どもがいる。外国語は、日本語、スペイン語、中国語（北京語）を話す。大学出

ゲスト講演　　オックスフォード大学教授　　苅谷　剛彦　氏
　演題（仮題）『変化する社会と『知』の役割』

1955 年東京都生まれ。オックスフォード大学社会学科およびニッサン現代日本研究所教授。米国ノースウェスタン大学で Ph.D.（社会学）取得。 2008 年より現職。2009 年まで東京大学大学院教育学研究科教授。専門は社会学，現代日本社会論。著書に『知的複眼思考法』『学校って何だろう』『階層化日本と教育危機』（大佛次郎論壇賞奨励賞）『大衆教育社会のゆくえ』『教育の世紀』（サントリー学芸賞）『Education Reform and Social Class in Japan』『Education, Equality, and Meritocracy in a Global Age』『追いついた近代 消えた近代』（毎日出版文化賞）など。

10　パネルディスカッション　　テーマ「学び続けるために必要なこと」

パネリスト	麻生 泰	学校法人福岡雙葉学園理事長，学校法人麻生塾塾長
（五十音順，敬称略）	アリソン　ビール	オックスフォード大学日本事務所所長
	日下部　元雄	（株）オープン･シティー研究所所長，元世界銀行副総裁
	島津　公保	島津興業取締役相談役
	隅田 学	愛媛大学教授，　愛媛大学附属高等学校校長
	森田　洋平	沖縄科学技術大学院大学学術連携推進シニアマネジャー
司　会　者	岡本　尚也	一般社団法人 Glocal Academy 理事長

11　ワークショップ
〇ユキ・近藤・シャー（在福岡米国領事館 広報担当領事兼　福岡アメリカン・センター 館長）
「Soft Power: Storytelling and Influence」
〇宇津木光代（Nature リサーチ）「新型コロナウイルス」とは何なのか
〇石坂香子（東京大学，大学院工学系研究科(工学部）教授）×工藤春華（厚生労働省）
『女性科学者へのすすめ』×『ジェンダーに囚われないキャリア形成』
〇岡本尚也(一般社団法人 Glocal Academy 理事長,物理学博士)「留学を視野に入れた 20 代の人生設計」

一般社団法人
Glocal Academy

12　参加発表参加者

① 都道府県：22 都道府県

宮城県，山梨県，茨城県，千葉県，埼玉県，東京都，新潟県，石川県，愛知県，大阪府，兵庫県，鳥取県，岡山県，広島県，香川県，高知県，福岡県，佐賀県，長崎県，熊本県，宮崎県，鹿児島県

② 学校：56 校（前回:43 校）

宮城県仙台二華高等学校，新潟県立津南中等教育学校，金沢大学附属高校，山梨県立甲府西高等学校，江戸川学園取手高等学校，市川学園　市川高等学校，芝浦工業大学柏高等学校，埼玉県立浦和第一女子高等学校, 淑徳与野高等学校, 佼成学園女子中学高等学校, 三田国際学園高等学校, 東京都立調布南高等学校, 東京都立南多摩中等教育学校, 明星高等学校, 明法高等学校, 東京都立大泉高等学校, 広尾学園高等学校, 名古屋経済大学市邨高等学校，名城大学附属高等学校，近畿大学附属高等学校，大阪教育大学附属高等学校平野校舎，大阪府立岸和田高等学校，大阪府立富田林高等学校，大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎，兵庫県立加古川東高等学校，兵庫県立姫路西高等学校，鳥取県立倉吉東高等学校，鳥取県立鳥取西高等学校，岡山県立岡山一宮高等学校，山陽学園高等学校，広島市立広島中等教育学校，福山暁の星女子高等学校，香川県立高松北高等学校，高知県立高知小津高等学校，高知県立高知西高等学校，自由ケ丘高等学校，福岡県立城南高等学校，筑紫女学園高校，佐賀県立鹿島高等学校，長崎県立長崎東中学校・高等学校, 長崎県立諫早高等学校, 熊本マリスト学園高等学校, 熊本県立鹿本高等学校, 熊本県立玉名高等学校, 熊本県立済々黌高等学校，宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校，宮崎大宮高等学校，宮崎県立高鍋高等学校，学校法人神村学園高等部，鹿児島県立錦江湾高等学校，鹿児島県立甲南高等学校，鹿児島県立国分高等学校，鹿児島県立曽於高等学校，鹿児島県立大島高等学校，鹿児島修学館高等学校，志學館学園志學館高等部

③ 総申し込み数：202（スライド発表：142，ポスター発表：60，総生徒数 427 名）．（前回:157 件）

④ 書類審査通過数：124（スライド発表：50，ポスター発表：74）．

＊応募多数につきポスター発表の分野を追加し．スライド 5 分野，ポスター6 分野とした．

⑤ 見学参加者：44 機関　190 名からの申し込み．

13　広告掲載団体

株式会社 新興出版社啓林館，株式会社 JTB，沖縄科学技術大学院大学，東京書籍株式会社，関西大学，九州大学，宮崎大学，立命館アジア太平洋大学，株式会社寿福産業

審査員一覧

スライド発表　Oral Presentation（敬称略）

①社会科学	島津 公保	株式会社島津興業相談役
	日下部 笑美	(株)オープン・シティー研究所共同代表、Abalance 株式会社社外取締役、ロンドン大学ＵＣＬ校計画学博士
	相澤 真一	上智大学 総合人間科学部　教育学科　准教授
②地域・海外・芸術	日下部 元雄	(株)オープン・シティー研究所所長，元世界銀行副総裁
	Alison Beale	オックスフォード大学日本事務所代表
	Edward Vickers	九州大 人間環境学研究院 教授
③数学・物理	齊藤 英治	東京大学大学院工学系研究科物理工学専攻教授
	出原 浩史	宮崎大学工学部准教授
	森田 洋平	沖縄科学技術大学院大学学術連携推進シニアマネジャー
④化学・地学	谷口 育雄	九州大学カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所准教授
	清水 宗治	九州大学大学院工学研究院応用化学部門・准教授
	田中 義洋	東京学芸大学附属高等学校
⑤生物	上田 正人	関西大学化学生命工学部 教授
	宇津木 光代	Nature リサーチ
	内海 俊樹	鹿児島大学 大学院理工学研究科 教授

ポスター発表部門　Poster Presentation

①教育	東 まゆみ	オックスフォード大学日本事務所代表補佐
	石澤 麻子	フリーランス編集者
	井口 由布	立命館アジア太平洋大学　社会連携部長
②地域課題	青山 泰司	鹿児島県庁総務部財政課課長
	河野　久	宮崎大学国際連携センター助教
	飯森 利徳	株式会社鹿児島銀行地域支援部　地域開発室　室長
③国内・国外社会課題	堂園 文子	堂園メディカルハウス
	佐藤 浩人	立命館アジア太平洋大学 国際経営学部准教授
	毛 彩霞	地球環境戦略研究機関（IGES）
④数学・物理	針井 一哉	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構
	今 隆助	宮崎大学工学部　准教授　数理生物学
	大野 真之	九州大学大学院 工学研究院応用化学部門 助教
⑤生物	木村 健太	広尾学園中学校高等学校医進・サイエンスコース統括長
	柳下-姜 楠	埼玉医科大学　薬理学　助教
	松村 秀一	岐阜大学 応用生物科学部 教授

一般社団法人
Glocal Academy

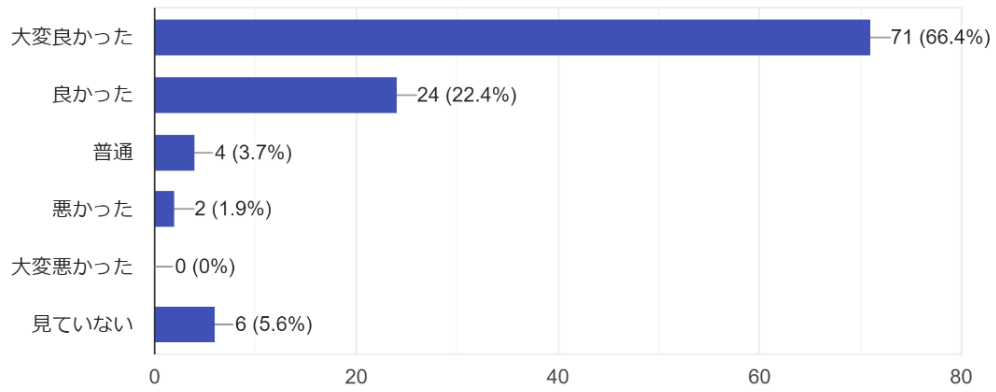
⑥環境・化学	隅田 学	愛媛大学学長特別補佐・教育学部教授，国際連携推進機構副機構長，愛媛大学附属高等学校校長
	メリア・ミラー	沖縄科学技術大学院大学科学教育アウトリーチチームリーダー
	渡邉 峻一郎	東京大学大学大学院 新領域創成科学研究科 物質系専攻准教授

審査結果に関しては別紙をご覧ください.

アンケート結果

1. 基調講演について

107 件の回答



コメント

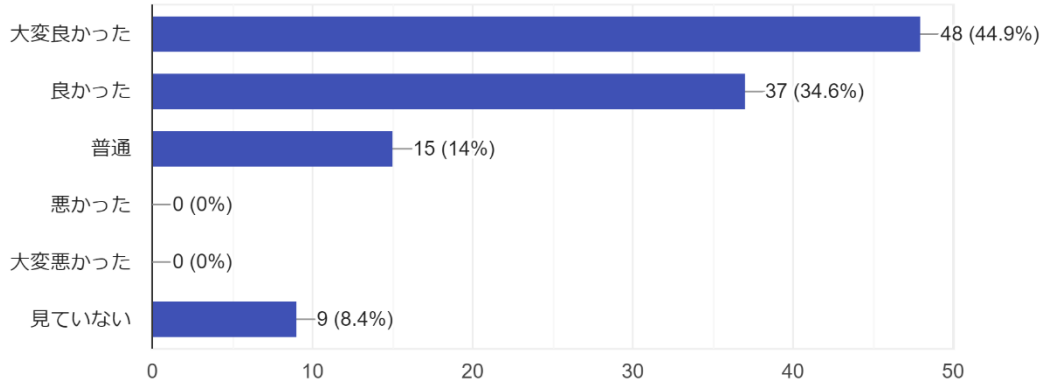
とても心に響いた。
本気でシャーさんのようになりたいと思った
インターナショナルスクールにこだわる意味はないと仰っていたのが印象的でした。
特に、色々なリーダーシップに関するお話がとても興味深かったです。
この話を高校生のうちに聞くことができて幸せです。英語をもっと勉強しようと思えた。ぜひ留学したい。
力強く、明確でよいスピーチでした！
私も、将来外交官になる事が夢なので、今回の話を聞くことが出来、これまで経験してきた事を糧に更なる挑戦をしていきたいとおもいます。
改めて私達一人一人が可能性に満ち溢れており、意識的な行動が今後の社会において重要であるという事が感じられた。
苦い経験も苦いままで終わらせるのではなく、更なる強みにすることができるのだと、自身で自身を納得させるだけではなく、他者の意見として改めて聞くことができて良かったです。
近藤さんの講演は、非常に分かりやすく、自分の生い立ちも教えていただきすごく良かったです。
国際的な人ってきっとこういう人を言うのだろうと思いました！自分ももっと多様な価値観をもって世界で活躍できる人になりたいと思いました。
経験で成り立つ人となりがあり、それがその人のものになることで新しい道を切り開くことが出来るんだと思いました。
自分の体験談と共に詳しくお話されていた
自分の体験談を交えながら話をされていて、この先の研究や進路に活用できそうな知識が学べた。
国際色豊かな環境で生活された方の意見を聞くことができて面白かったです。
ソフトパワーという概念が面白かった。
夢を叶えられた近藤先生の姿を見て、自分のこれからの人生が楽しみに思えるようになりました。

良かったです。
初めて聞くソフトパワーというワードにとても興味を持ちました。
価値観は人それぞれで自分の何気ない言動は人の心を傷つけることがあると気付かされた。
沢山のアドバイスをしていただいたので今後の活動にも活かしていきたいと思いました。
リーダーシップに必要なものが柔軟性と順応性で、もっと色んな価値観を持つ人と関わり、その価値観に触れることが大切だと学ばせていただきました。
子供に伝えたい事がそのまま入ってました！！
近藤さんのプレゼンスキルのおかげで、明るい気分で大会をスタートすることができました。どんなリーダー像があって、どう向かっていくのか、具体的にも理解でき、とても参考になりました。
文化の文化の違いがありながらも挑戦する姿勢にひかれた
近藤さんのバックグラウンドなどを聞き、私もたくさんチャレンジしていきたいと思いました。とても面白かったです。
人前で話す機会の積み重ねが大事だとおっしゃっていましたが、本当にそうだと実感しました。自分の発表でなく、ほかの人のプレゼンを見て、自分の発表にないことがわかりました。これからの発表の機会のために、今日ほかの人の発表や、講師の方の講評を聞けて嬉しく思います。
自分のことも大切だけれど、沢山の人との交流を通して社会貢献することで自分の視野も広がるし幸せを分かち合えるのだと思った。
研究、分析、行動がリーダーシップにつかながることがとても印象に残った。また、日本のソフトパワーがとても大きいものであり、グループで人と何かをするということが当たり前になっている反面、グループによって起こるいじめなどの問題が生まれていることに目を向けるべきだと聞いて、自分も今まで見ないふりをしてきたそういう問題に対して何か出来ることはないか考えてみようと思いました。
自己紹介をするときの重要なポイントと、ユキ・近藤・シャー氏が大切だと思っている『順応性と柔軟性』についての話を聞けて、共感することが多かった。
私も留学した経験があり、講師の方の気持ちと重なる部分があって、改めて自分自身を振り返るいい機会にもなったと思います。
ユキ・近藤・シャーさんの過去のつらかった体験やそれを乗り越えるために頑張ってこられたことを聞くことができて、困難に直面しても諦めずに自分なりにどうすれば良いかを考えて行動することが大切だと思った。
自分の考えるテーマについて、何ができるか、その次に何ができるのかを考えることが大切なのだと思った。また、みんなで一つのことをやりとげるということが、日本独自のことであると知り、驚いた。また、近藤氏の電車でのエピソードを聞いて、コミュニケーションをとるときに一回一回吟味することの重要性をしることができた。
Yuki　Kondo-Shah さんの国際的な仕事に対する情熱や思いがとても伝わってきて、感銘を受けた。
多文化の中で生活したことでよかった点を知ることができ、大変よかったです。また、アメリカの教育の教育の良い点、日本の日本の教育の良い点、悪い点がとてもわかりやすかったです。自分の気持ちだけでなく、相手がどう思うかをしっかり考えながら考えながら、コミュニケーションをとっていかなければいけないなと、改めて再確認できましたできました。

将来留学を目指していますが、多様文化を持つことがどれだけ有意義か基調講演を通して知ることができ、留学への意欲がより一層深まりました。
日本には気づいていない良さがあるというのを近藤・シャー・ユキさんが仰っていて、海外にいるからこその視点があるというのをこの講演を通して感じたことです。
外国から改めて日本を見つめた時、私たち日本を誇っていく存在なのだと気づいた。
ユキ先生の知性と品性と人間味に心うたれました。生徒達も感動していました。
これからの世の中で、人として生きていくために考えるべきことに思い至ったような気がします。非常に興味のあるお話でした。ありがとうございました。
先生の心構えや積極的な姿勢がに感銘を受けました。すごく勉強になりましたし、今後の人生の糧となる貴重なお時間だったと思います。
様々な話をお聞きすることができ、海外経験のない自分にはとても興味深く貴重な経験になったと思う。
改めて私達一人一人が可能性に満ち溢れており、意識的な行動が今後の社会において重要であるという事が感じられた。
課題研究に限らず幅広い分野で、何かを始める時に必要になってくる情報の調べ方について詳しく教えていただいてありがとうございました。インターネットが発達して情報・知識が簡単に手に入るようになった反面、正しくない情報も混じっていることをしっかり認知した上で今後は調べものに取り組もうと思いました。
各々のパーソナリティの違いや、それを理解し行動することがいかに重要か改めて気付くことができました。真っ直ぐで熱のある大変貴重なお話をいただけました。ありがとうございました。
発表者の方の発表に対する姿勢、態度、表情などはもちろん、これまで経験されてきたことを踏まえてのお話がとても感動的でした。
生徒にスマートパワーを与える内容でした。生徒全員に聞いてほしい内容でした
この講演を聞いて、自分の意思を発表することの大切さや研究の分析をして行動するリーダーシップの重要さを改めて学べました。特にリーダーシップについては、インフォーマルなリーダーシップという言葉が印象に残っています。今回聞いた内容を忘れずに、自分のテーマで何をしたいか、何ができるかを考えながら研究していきたいです。
近藤さんの生い立ちを振り返りながらの発表で今まで自分が持っていた視点と違う切り口での講演で考えさせられました。
近藤さんの講演は、非常に分かりやすく、自分の生い立ちも教えていただきすごく良かったです。
リーダーには分析、研究、行動、情熱を持っている人がなれるものだと言うことがわかった。リーダーに少しでも近づけるように努力することが大事だと思った。他の人に何が出来るのかを考えられる人になり、少しの人でも幸せになれる世界を造りたいと思えた。
人前で話す機会の積み重ねが大事だとおっしゃっていましたが、本当にそうだと実感しました。自分の発表でなく、ほかの人のプレゼンを見て、自分の発表にないことがわかりました。これからの発表の機会のために、今日ほかの人の発表や、講師の方の講評を聞けて嬉しく思います。

2. パネルディスカッションについて

107 件の回答



コメント

自分らより遥かに頭の良い方々のディスカッションは為になりました
音声が聞き取りにくいところがあった
ポジティブに生活しようと思う
いろんな人の話が聞けて良かったです
麻生さんの how lucky I am という言葉が心に残った
各界の専門家の対話は素晴らしかった。
あまりよく分からなかった
岡本さんの場の回し方が上手いと思った
図や絵を載せてやってほしい
多くの専門家の意見が聞けて、大変参考になった。
各界のトップの方々のお話を聞くことができて光栄だった。
各パネリストの姿勢が前向きで大変頼もしく感じました。
様々な分野で権威でいらっしゃる方々のご意見や、お話を通して自分自身もとても刺激になりました。ありがとうございました！
自分が見たコース以外のお話も聞きたかった。YouTube 配信などで公聴できるようにして欲しい。
勉強の考え方などを考えさせられるとても貴重な時間でした。
たくさんの意見があり良かったです。積極的に意見を言う大切さを知りました。
少し声が聞こえにくい所があったのが残念ですが、それぞれの専門家の方達が議論しているところを客観的に見れることはなかなかないのですごくいい経験になりました。
最初は見ていたが、高校生やもっと若い人達のディスカッションの方が興味があった。主催者も相当凄い人なので、人を集めることは出来るだろうし内輪で語り合えばいいのではと思った。
貴重な教授のお話が聞けてためになった
研究者の会話を聞く機会が得られて、嬉しかった。
話し合いの中身はとてもあって、参考になった。話し合いが進むに連れて、可能なら話し合いをまとめ

た画面を表示するなどしていただけるとありがたいと思った。
社会の前線にいる方々からお話を伺えるだけでもとても貴重だった上に、「学び続けるために必要なこと」と高校生という肩書きに縛られないような、今後も着いてくる疑問についての議論を聞けて、ものすごく興味深かったです。
学ことの意義を知れた良い機会となった
自分の活況に対する第三者の意見をいただけて大変嬉しく思います。また、他グループの発表方法や研究に学ぶところも多かったので、ぜひ自分の研究や、後輩たちにもこの機会を生かせるよう、反省と報告をしていきたいとおもいます。
筋の通ったもので根拠が明確に示されており、説得力があった。また、研究の内容に非常に興味を持ったものがあった。
日下部さんと、隅田さんのおっしゃっていた、学び始めのワクワクしたことから、自分で探索し、限界まで挑戦するという内の世界から、クライアントの話やチームを作って成果を出すという外の世界を組み合わせることで、学び続けることができる、という話が印象に残りました。自分の世界でただ極めるのではなく、違う考え方を取り入れるのも大事なのだと思いました。
たくさんの方達の貴重なお話を聞けてとてもこれからの人生に為になると思った思った。
HOW LUCKY WE ARE という言葉がとても印象的でこれからの活動にも繋げていきたいと思った。
たくさんの教授からこれからの人生について役立つことを学べる機会を得ることができて良かったと思う。
森田氏のほんとに好きなことは勉強しているという自覚がないという言葉がすごく印象に残っている。私もとことん追求することが楽しいほどの何かを今後見つけたいとおもった。
広いアンテナを常に張っていくことや学び方を見つけていくこと、失敗しても明るくポジティブに取り組むことが重要だと学び、視野を広げていこうと思った。
錚々たる方々のそれぞれの意見を聞くことができ、大変勉強になりました。麻生さんの、どんなことにでも感謝して生きていくという考え方は、本当に素晴らしいと感じました。また、特に島津さんの、島津斉彬氏の話での、歴史に対する考え方にとても共感しました。
「かきくけこ」をしていくことや、邁進していく姿勢などを意識してこれからも勉強していきたい。
オックスフォード大学では学び方の勉強をしているという事が話題になったが、日本でも、中学校や高校のうちから各々のレベルにあった形で、そういった学習をしていってもいいのではないのかと思った。
それぞれ異なる分野の方々から様々な意見やお話を聞くことができ、これまので自分の経験を見つめ直すきっかけになったと思う。
様々な分野で権威でいらっしゃる方々のご意見や、お話を通して自分自身もとても刺激になりました。ありがとうございました！
麻生さんの、１日にあったことを日記につけていく習慣を私もやってみようと思いました。日記をもとに予習・復習をしていくことで計画性を身につけることができると思いました。
客観的にいろんな方のお話を伺えたので、大変面白かったです。
色々な方々の意見を聞けてとても、面白かった。
ディスカッションの深まりという点では直接対面で行えたほうか良かったような気もしますがいろい

ろと示唆に富んだ話しが聞けてよかったです。
今回の演題について様々な意見が聞けて楽しかったです
特に麻生泰さんの毎日日記を書いているということがとても心に残っています。合計 149 冊もの日記を書き、なおかつ月の初めや週の初めに読み返すことで予習と復習を常に意識されていることが伝わってきました。私も麻生さんのように日記などを少しづつ続けていき、深く考える習慣を身につけていきたいです。
ひとつのテーマに対して、色々な立場の方が意見を述べられており、とても勉強になりました。
たくさんの意見があり良かったです。積極的に意見を言う大切さを知りました。
教育について詳しく、深く話し合いが行われたため教育がいかに大事か実感した
自分の活況に対する第三者の意見をいただけて大変嬉しく思います。また、他グループの発表方法や研究に学ぶところも多かったので、ぜひ自分の研究や、後輩たちにもこの機会を生かせるよう、反省と報告をしていきたいとおもいます。
岡本さんの場の回し方が上手いと思った
講師の方の述べられていた良い点、課題点、講評を参考にこれからも自分の疑問点や研究に真摯に向き合っていきたいと思います。
zoom の画面共有発表ゆえ直接語け聞かせる力は計りにくく思いました。しかし研究に対する熱量はプレゼン力に左右されるものではないので研究そのものに焦点をあて審査されたことは良かったと思います。高校生でもここまでできるのかとただただ感服させられました。
参加者全員が強い問題意識を持って社会課題解決に取り組んでいるんだなととても感動しました。先行調査など、文献から出たデータや情報を分析することは出来たものの、自分で行動して得たデータを分析するまでには至らなかったので、そこを改善しなければならないなと思いました。審査員の方々から 1 人ずつフィードバックをもらえたことがとてもありがたく嬉しかったので、それらを踏まえて研究をさらに良いものに出来るよう進めていきたいと思います。
他の人の研究発表は、個性豊かで、日本語ではなく、英語で発表している人もおり、すごいなと思いました。それぞれの個性を表現できていて、素晴らしいなと思いました。
他のプレゼンターに多くの刺激を受けることができて、ほんとにいい経験ができてありがとうございました
先生方の話を聞いて日々の勉強の励みになりました。
講演会より聞きやすいです。
普段お話を聞けないような方の貴重な議論を見ることができてよかった。知識を蓄えることも大切だが、学び方を学ぶことやプロセスを学ぶことが大切なのだと知った。
内容は難しかったですが、今の自分たちに当てはまることだったので今後どのように勉強だったり研究を続けていくかを考えるいい機会となりました。
オックスフォード大学の学習への取り組みの勉強も日本に必要だと感じた。
ひとつのことから色々な物事に会話の中で膨らませていくのを見て、議論することの難しさと大切さを改めて実感し、課題研究の発表会の時にも活かしていきたいと思いました。

4. 研究発表，審査について

後悔は残りますが、それ以上に多くのものを得ることが出来たと思います。
他の人の発表が分野に関わらず興味深かった
めちゃくちゃ緊張しました
オンラインでの発表ができてよかったです。コロナ禍でも様々な人に自分たちが行った研究を聞いてもらえてフィードバックをいただけたのは良い機会になりました。
他の学校の研究発表の練習量の多さ。ただ、放送部のコンテストみたいな丸暗記は違うのかなとも思った。
英語で発表してる人がすごかった
ポスター発表は、YouTube ライブの方にも拡大版のポスターが見える工夫が欲しかった。手元に資料がないため、カメラだけでは見えないところが残念だった。
皆さん講師の方々からの質問を、理論立てて返答しているのが印象的で素晴らしかったです。
同じ高校生がここまで考えているんだと驚いた
スライドを凝ったりなど発表方法への工夫が必要だと気づくことが出来た。
難しかった。他の高校の発表を聞くことができてよかった
今後の展望が広がった、
研究発表全て高クオリティで、口が開いたまま塞がりませんでした。私のやっている実験や、発表の参考にもなるので、とても貴重な見学でした。パワポもすごく工夫されていて、とてもとても参考になりました。ありがとうございました！
先生方からの指摘がとても詳細で的を得ており、校内での研究発表と違いしっかり理解してくれているのが伝わってきて嬉しかった
周りの研究のハイレベルさに驚いた。
緊張して途中何をいうべきか内容が飛びそうになった
オンラインでの閲覧だったが、場所を移動せずに見ることができて便利だった。
ズームでは相手の表情を確認しづらかったので伝わってないのか不安になった
他のプレゼンターに多くの刺激を受けることができて、ほんとにいい経験ができてありがとうございました
発表までの準備にあまり余裕がなかったけど、精一杯発表できて良かった。他の発表で今まで知らなかったことについて聞く機会があり良かったと思う。
審判の教授方は専門の優れた知識を持っていて、踏み込んだ所まで質問してくれたのが嬉しかったです。
英語で発表している班に圧倒されました。私たちの班では日本語だったので、英語で発表できるようになりたいです。
優秀賞を見たら、もっといいものを作りたいと思った
研究などで、筋道が通っている発表がとても良かった。
審査員の質問がとてつもなく難しかった
どの学校も興味深い研究ばかりで大変楽しかった。

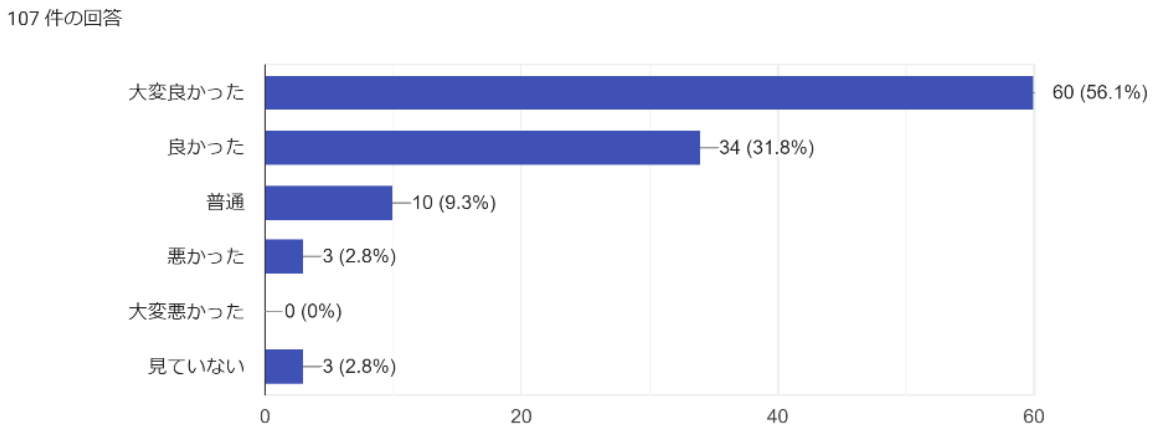
各発表が頑張ってフォーマットを整えてきているのを見て、指導された先生方の努力を感じました。
接続の問題は、当然起こりうることであって仕方ないと思います。審査に影響しないのであれば、気にされることはないと思います。
今回の経験は私にとって大変素晴らしいものとなり、研究において、未熟であった部分などを見つけることが出来ました。これからさらに、研究を深め、研究を自分のものにできるよう、また、もっとオリジナリティのある研究を行っていきたいです。
他の学校の生徒さん達からも様々な研究と通して刺激を貰えるとともに、自分自身も勉強になったと思います！
自分のときの研究発表にも生かせそうな指摘をたくさん吸収できた。特に、先行研究の取り扱いは気を付けたい。
リモートで、このように発表会をすることができることはすごくよかったと思いました。しかしながら、場所へ行っての発表の方が聞きやすい面もあるのかなとおもいました。
みなさんレベルが高くてビックリしました。
ポスター発表では、あまり言葉につまらず言えたけど質疑応答の時に返答出来なかったのが残念でした。
優秀などに選ばれている発表は質疑応答に落ち着いてこたえれていらことに気がついた
緊張してしまってうまく質疑応答に答えられなかったことを後悔しています。しかし、ケンブリッジ大学教授の方などに自分の探究について誉めていただいて、すごく指針になったし、改めて経済分野の進路に進みたい！と強く思えました。
発表はとても緊張したが、審査員の方々から的確なアドバイスや、思いも寄らない質問をしていただいたことが嬉しかった。
大きな舞台で緊張した
発表は頑張れた。しかし、他校の方達の凄さに圧倒されて、自分はまだまだだったのだと感じた。
英語で発表してる人がすごかった
発表するだけでなく、他の班の発表を聞けたので全国レベルのさまざまな分野を学ぶことができた。
学校によってパワーポイントのレイアウトが違ったのが面白かった。
それぞれの発表団体の方々が工夫して面白い研究をなさっていて興味深い内容でした。
zoom での大会で、やりにくいところもあったが色々なものがみれて面白かった。
専門的な分野ごとに分かれていて、同じ分野でしている中でも観点が違ったりしていて興味深かった。
自分たちの研究の足りない部分や改善点が見つかった。ほかの発表者からも多くの学びや参考にしたいところがあった。
生徒同士で質問できる時間が欲しかった。
レベルが高かったです。
非常に興味深く、自分では思いつかなかった。
審査員の方からの質問が一番難しかった。想定外のことを聞かれたり、どのような実験をしようと考えているのかなど準備している質問以外が多かったので柔軟な対応力が大切だと思った。
英語の能力が欠けている。もっと頑張ろうと思った
自分の研究結果を発表するだけでなく、伝わりづらかったことやアドバイスしていただけて、改善点

が分かったのでよりよい研究にしていきたいととても強く思いました。
どの発表も非常に興味深かった。また自分たちの発表に対しての質問によってより深い議論を今後展開できると感じた。
自分の研究を深いところまで掘り下げておかないと質問された時にされた時に対応しきれなかった。
また、他県の高校生の発表を聞いて自分だったら調べないような分野にも興味を持つことができた。
初めての事だらけで戸惑いもあり、緊張もしました。でも、今回のことから得られたことは沢山あり、1 個 1 個を無駄にせず今後に活かしたいと思いました。
私たちの研究ではまだ解決できていない課題が残ってしまった状態で発表をしました。そこをもう少し詰めることができればよかったと思っています。同じグループの発表や、優秀賞の発表を聞いて同世代でこんなことができる、と尊敬しました。
発表形式がスライドからポスターに変わった理由がはっきりわかるとよかったです
自分の発表以外の発表を聞けたことで、どこのポイントに着目して研究を進めるのがよいか、わかりやすい発表方法や話し方など、多くのことを学べた。
　自分の未熟さを強く感じました。また、1 年生のときにも参加していればよかったな、ととても後悔しました。
ほかの方々の発表を聞いて面白いと思うものやすごいなと思うものがたくさんありまたアーカイブみて見れなかった方も見てみたいと思いました。
他校の人達の発表から自分達の発表に吸収できることが多く、勉強になった
いろいろな学校の同じ年代の人が様々なところに目を向けて取り組んでいて、とても勉強になりました。
講師の方の述べられていた良い点、課題点、講評を参考にこれからも自分の疑問点や研究に真摯に向き合っていきたいと思います。
なかなか冷静に質問に答えられず、悔しかった。資料などの分析は徹底的にするべきだと思った。プレゼンの際は伝えたいことをはっきりした上で練習するべきだった。
他校の発表を聞くことが出来てとても刺激になった。また、優秀発表はどれも素晴らしく、わかりやすかった。
厳しかった。
7 分間の発表は、チームみんなが噛んだりすることなくできて良かったが、審査員の皆んに質問が来ないような発表をするべきだとおもった。
意外な面からの質問があり戸惑ってしまい、質問された内容に対して適切な答えを返せたか不安があります。ですが、逆に普段質問されないことを質問していただき貴重な体験となりました。シンポジウムに参加されているグループ皆、堂々と発表しており、質疑応答のところでも狼狽えたり、わかりませんで返答することがなくすごいと思いました。色々なグループの発表を聞くことにより、様々な社会の問題を知り自分が興味を惹かれたものも見つけました。　参加できてもてもよかったです。
自分がもっと掘り下げないといけないところが他にあった他、バックグラウンドなどももっとできたらいいなと思うところが多かった。
自分の研究発表では緊張せずに練習通りに発表することができたと思う。また、質疑・応答でも英語で応答することができた。質疑・応答では自分の研究発表で足りないところやこれからの研究をどうす

れば良いかを学ぶことができて良かった。
もう一度、チャレンジしたいと強く思った。
質疑応答で自分がちゃんと理解できていなかった所を痛感した。
他の人の研究発表は、個性豊かで、日本語ではなく、英語で発表している人もおり、すごいなと思いました。それぞれの個性を表現できていて、素晴らしいなと思いました。
研究発表が始まった当初、Youtube live で観戦させていただいていた時に音が大変ハウリングしてしまっていたり、私たちの発表の時も始まるまで音声の不具合や突然のトラブルに見舞われ、オンラインの開催の大変さを痛感しました。ですが、初めての高校生国際シンポジウムで貴重な経験をさせていただいたこと大変感謝しております。
ポスターの原稿だけでは中々伝わりづらいところが特に目立ち、質問にも上手く答えられることが出来なかったので、これから先の発表への教訓として分かりやすく作ったりどのような質問にも答えられるように自分自身の理解を深めていきたい。
1 年間の研究をポスター1 枚にまとめ限られた時間の中で他の人にわかるように説明するのは難しい事だと準備を通して感じた。また、質問を受けて自分たちが気づかなかった研究の綻びや新たな考察の可能性を発見して、学びが続いていくということを実感した。
各部門 3 名もの先生方に多角的にご講評いただき、生徒達にとって大いに勉強になりました。誠にありがとうございました。
周りに課題研究をしている同級生がいなかったので、他の地域の高校生がどんなことをしているのかを知れて勉強になった。受賞できなかったのはとても悔しいが、今回の経験をバネに、将来やりたいことに向けて努力したい。
ポスター発表では折角のポスターが良く見えませんでしたので画面共有等できればと思いました。
どの研究もとても興味深い内容でした。また、こんなにも英語が達者な高校生がいるということに驚いたと同時にグローバルに活躍していくためには研究活動はもちろん英語でのコミュニケーション力もつけなければいけないと、学びの気付きがあり有意義な時間でした。
自分達では深く考えたつもりでも、この研究発表で新たに気づかされたことがたくさんあった。自分以外の発表を見る際もその完成度に圧倒されたが、さらに自分の研究を高めたいというモチベーションに繋がったと思う。
オンラインではありましたが、発表する場を与えていただき感謝しております。ありがとうございました。
他の学校の生徒さん達からも様々な研究と通して刺激を貰えるとともに、自分自身も勉強になったと思います！
実験回数が少なく、準備万全で発表することが出来なかったので質疑応答の時はびくびくしてました。ですが、重点的に聞かれたことは何が動機なのか、何を明らかにしたいのかなどの自分事として取り組んでいるかだったので、それにはしっかり答えられたので良かったです。
参加者全員が強い問題意識を持って社会課題解決に取り組んでいるんだなととても感動しました。先行調査など、文献から出たデータや情報を分析することは出来たものの、自分で行動して得たデータを分析するまでには至らなかったので、そこを改善しなければならないなと思いました。審査員の方々から 1 人ずつフィードバックをもらえたことがとてもありがたく嬉しかったので、それらを踏まえて

研究をさらに良いものに出来るよう進めていきたいと思います。
生徒たちの研究に対するモチベーションがとても高いことが質疑応答を見ていてわかった。今後も意欲を持った人たちに発表をしてほしい。
オンラインなので仕方がないがポスターも見えず、声も聞こえづらかった。
zoom の画面共有発表ゆえ直接語け聞かせる力は計りにくく思いました。しかし研究に対する熱量はプレゼン力に左右されるものではないので研究そのものに焦点をあて審査されたことは良かったと思います。高校生でもここまでできるのかとただただ感服させられました。
自分と同年代の研究を中々聞く機会がなかったので非常に興味深かったです。
自分たち以外の発表を聞き、スライドの分かりやすい見せ方や喋り方、研究内容の斬新さなど、沢山のことを学ぶことが出来ました。このことを次に活かしながら、より良い発表にしていきたいです。
同年代の研究を知ることが出来て、大変良かった。
同世代の研究に刺激を受けた。また、自分たちの研究を発表出来る場所があり、とても嬉しかった。
他校の発表を見て、さらに生物分野への興味・理解が増した。
初めてのポスター発表で非常に緊張した。また質疑のレベルも、とても高く質問に答えるのは大変だったが良い経験になったと思う。
ポスター発表では、あまり言葉につまらず言えたけど質疑応答の時に返答出来なかったのが残念でした。
研究手法だけしか理解できていなかったのが質問されたときに実感した。これからは疑問を持ちどんな質問がきても簡単に答えられるよえにする。
講師の方の述べられていた良い点、課題点、講評を参考にこれからも自分の疑問点や研究に真摯に向き合っていきたいと思います。
研究し発表するという貴重な経験が出来たと思う。
他のプレゼンターに多くの刺激を受けることができて、ほんとにいい経験ができてありがとうございました
講師の方の述べられていた良い点、課題点、講評を参考にこれからも自分の疑問点や研究に真摯に向き合っていきたいと思います。
zoom の画面共有発表ゆえ直接語け聞かせる力は計りにくく思いました。しかし研究に対する熱量はプレゼン力に左右されるものではないので研究そのものに焦点をあて審査されたことは良かったと思います。高校生でもここまでできるのかとただただ感服させられました。
参加者全員が強い問題意識を持って社会課題解決に取り組んでいるんだなととても感動しました。先行調査など、文献から出たデータや情報を分析することは出来たものの、自分で行動して得たデータを分析するまでには至らなかったので、そこを改善しなければならないなと思いました。審査員の方々から 1 人ずつフィードバックをもらえたことがとてもありがたく嬉しかったので、それらを踏まえて研究をさらに良いものに出来るよう進めていきたいと思います。
他の人の研究発表は、個性豊かで、日本語ではなく、英語で発表している人もおり、すごいなと思いました。それぞれの個性を表現できていて、素晴らしいなと思いました。
他のプレゼンターに多くの刺激を受けることができて、ほんとにいい経験ができてありがとうございました

5. ゲスト講演について



コメント

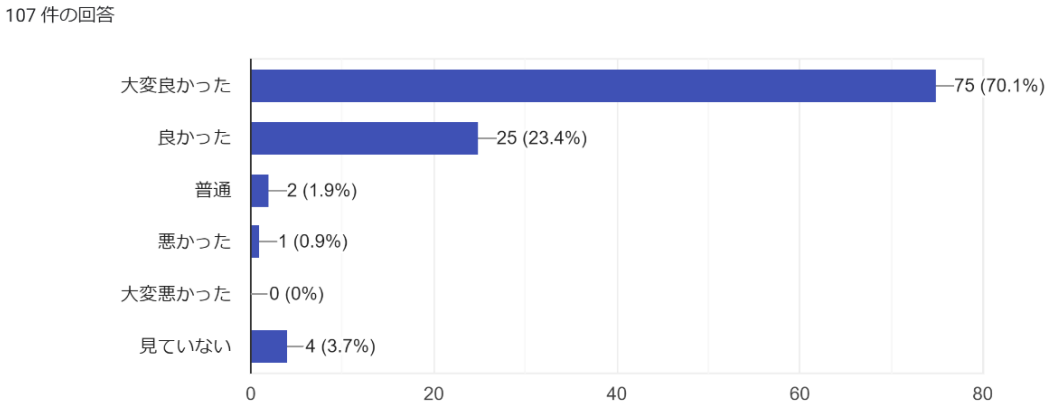
自分の考えがまとまった
インターネットと実際に本屋や図書館に行くことの意義や大切さが、面白かったです。
偶然の出会いを大切にする
特になし
最近の世界情勢に対応した話題であり、聞いていて楽しかったです
「知」というものの見方が変わった。
知についてよく分かった
知の再発見が重要だとわかった
偶然の大切性を思い知らされました。
私達は天才じゃないので、過去のものに頼りながら頑張っていきたい
教科書の読み方に関する講演では、知識を得た後、教科書を読むに当たって、教科書の先の内容を自分で考えて書いたり、その知識がどのように生まれたのかを知るというのが新しい発見でした。
現代を生き抜く私たちにとって、全員が聞くべき話だと思った。
とても興味深い内容を伺うことができてよかったです。Ｗｅｂ上でならばこういう講演のスタイルもあるのだと感心しました。
今後の社会や 22 世紀に向けてどのような姿勢、どのようか考え方が重要であるのかを教えて下さり、これ以上ない貴重な時間だったと思います。
知の再生産も知の生産の一部ではあるのだと思った。
新しい様式へと変わっていく中で、やっぱり、自分の中に取り入れたものは、いつ次期であったとしても大切なのかなと思いました。
これからの社会について詳しく知ることが出来ました。
再生産じゃなくて生産がしたいと私も思いがちでした。けど、再生産の大切さを学べました。
質疑応答での質疑の内容がとても面白かった。もう少し濃い内容の講義も聞きたいとと思った。

外国語について気になっていたことが聞けてよかった
なかなかお話を聞くことのできない方のお話を聞ける機会自体が嬉しかった。普段聞けることのない内容のお話が聞けて大変ためになった。
自分の考えがまとまった
学ぶことの大切さを改めて学習できました。いろいろな意見や考え方に触れていきたいと思いました。
変化する社会のなかで何をしていけばいいのか参考になった
分からない。
尊敬する苅谷先生のお話を聞くことができて本当に良かったです。これから 1 年間は受験勉強で忙しくなりますが、大学生になったら読書などに思う存分取り組みたいです。
少し長かったです
「知の生産」は SNS で調べることではなく、実際に書店などへ行きそこで偶然出会ったものだということを知り、周りの人に広めていこうと思うとてもいいお話でした。
偶然を起こすことで今後の計画に関わってくると思った。
今後自分たちの
図書館や本屋と、インターネットで見ることの差で図書館や本屋は、実際に行く過程での偶然がとても大事だと言う言葉がとても響きました。
基調講演と同じく、ずっと子供に伝えたかった事、伝えてきた事が詰まっていて、先生方からの言葉がスーッと入ってくれたらいいなと思いました。ほんとにいい講演でした！！
知の追体験という言葉がとても印象的でした。受験に向けて練習問題を解いていると、目の前の問題にだけ意識が行ってしまい、自分の好きな感じの勉強じゃない....と感じていたけど、その数式はもともと世界にあったものじゃなくて、誰かが思いついて考えて現在まで語られてきたものなんだなと、想いを馳せるだけで、受験勉強ももっと楽しめるようになるのかな、と思いました。
時間を延ばしていただいてとてもよかったと感じました。苅谷先生の話は自信と違う意見もとっている人を批判するのではなく尊重して自身の考えを広げていくことが大切がと思いました。
偶然がキッカケに進む学びもあるのだと分かった
以前現代文の教材で、情報を得る時は多くの情報を、出来るだけ違う立場や国の新聞などから集め、多角的な思考をすることが大事だと学びました。それにも通じる話題で、やはり必要なことは多くの人が気付いていて、発信されているので、それを受け入れる寛容さが必要だとおっしゃっていた意味を実感できたように思えます。
高校までの勉強はこれから先の研究のための土台だから、今しっかりと土台を作っておきたい。また、自分にしかできないこと、自分だからできることを考え、誰かの為に何かをできる人になりたい。
機械翻訳が文脈の微妙な違いを表現できないというのは確かにそうだと思った。機械翻訳に頼らず、自分でやってみることが大切だと思った。
難しかった。
社会・時代が変わることで自分たちも動かされると感じた。
本について図書館などに行く機会が減ってきている今ウェブとの差があまり見られないなと思っていたけど、講師の方の話を聞いて偶然という言葉がとても印象的だった。また、他言語を勉強する意味など深いお話を聞くことができてとても貴重だった。

私が 1 番印象に残ったのは両論併記についてだった。今では白黒つけられることを求められることが多いが、それはたいして重要ではなく、大切なのは、無知の知への謙虚さなんだなと言うことが分かった。
偶然を大切にするという言葉が心に残った。あっという間の 85 分で、内容が濃く、もっと話しを聞きたいと思った。
知の多様性を自分で見つけていことが重要だと学べた。
歴史について述べていらっしゃる場面は、とても共感できました。歴史を学ぶことで、過去の事例から、今起こっていることにつなげていくことができればと思いました。また、大学生活で、どんな風に研究を行なっていくことが大切なのかについても学ぶことがデイ学ぶことができ、とても有意義な有意義な時間になりました。
勉強という物事に対しての捉え方や、姿勢が変わりました。とても濃密でためになる講演をありがとうございました。
大変勉強になりました。ありがとうございます。高校生対象ということを強く意識してお話頂いていましたが、せっかくですから大学の学部生レベルを想定してお話頂いても良いかと思います。
自分の学びを深めるうえで大切なことをたくさん教えていただきました。何とか生徒に伝えたいと思います。ありがとうございました。
学びの本質を知れ、とても有意義な講義でした。
知の生産・再生産という言葉にとても感銘を受けた。自分が授業や本を楽しいと思っていたのは生産の追体験であって、課題研究で感じていた難しさは知の生産の 1 歩目であるということがとても腑に落ちた。生産のための再生産、再生産のための学びを大切にしていきたいと思えた。
今後の社会や 22 世紀に向けてどのような姿勢、どのようか考え方が重要であるのかを教えて下さり、これ以上ない貴重な時間だったと思います。
苅谷さんの「自分の考えを限定しない！」が心に響きました。
情報の適切な処理をすることは、自分が理解する上でも発信する上でも大切だと気付くことができました。ありがとうございました。
80 分でしたがとても中身が濃くてあっという間に感じた。学びの方法をとてもわかりやすく言語化してもらえて有り難かった。
もう一度、聞く機会が有ればと思うくらい、高校生に聞かせたい内容でした。knowledge　skill　compare　synthesis　大切なキーワードありがとうございました。
読書に関して新しい論点で話が聞けて非常に楽しかったです。
苅谷先生の話のお話を聞いて、理解力や統合する力、分析力や批判的思考力などの力がどうして必要なのかを考えることができました。「自分の考えを限定しないことが大切」という言葉がとても印象的だったので、これからも意識して取り組んでいきたいです。
学ぶ姿勢を見直すことができた。
非常に中身の濃い内容で、勉強になりました。
これからの社会について詳しく知ることが出来ました。
社会はどんどん変化していくためあらゆる情報と向き合っていくことが大切だと思った。情報と知識をどのように組み合わせるべきなのかということを考えるようになった。いかに自分が何も知ってな

いかを知ることが大事だと思った。
以前現代文の教材で、情報を得る時は多くの情報を、出来るだけ違う立場や国の新聞などから集め、多角的な思考をすることが大事だと学びました。それにも通じる話題で、やはり必要なことは多くの人が気付いていて、発信されているので、それを受け入れる寛容さが必要だとおっしゃっていた意味を実感できたように思えます。
以前現代文の教材で、情報を得る時は多くの情報を、出来るだけ違う立場や国の新聞などから集め、多角的な思考をすることが大事だと学びました。それにも通じる話題で、やはり必要なことは多くの人が気付いていて、発信されているので、それを受け入れる寛容さが必要だとおっしゃっていた意味を実感できたように思えます。
もう一度、聞く機会が有ればと思うくらい、高校生に聞かせたい内容でした。knowledge skill compair synthesis 大切なキーワードありがとうございました。
情報の適切な処理をすることは、自分が理解する上でも発信する上でも大切だと気付くことができました。ありがとうございました。
歴史について述べていらっしゃる場面は、とても共感できました。歴史を学ぶことで、過去の事例から、今起こっていることにつなげていくことができればと思いました。また、大学生活で、どんな風に研究を行なっていくことが大切なのかについても学ぶことがデイ学ぶことができ、とても有意義な有意義な時間になりました。

6. ワークショップについて



コメント

質問対応が丁寧でとても分かりやすかった。
とにかく楽しかった。日本のみならず自分の地域のソフトパワーを世界に伝えていくことができるような大人になりたいと思った。
主にアメリカのソフトパワーの現状や、日本のソフトパワーの強さ、良さなどを知ることが出来て、大変いい経験になりました。
ソフトパワーについて初めて詳しく聞いたけどわかりやすくもっと聞いてみたいと興味がわきました。
新型コロナウイルスに対する正しい知識の他にも講演者の仕事内容や価値観など様々な事を教えて下さいました。ありがとうございました。
他の先生の講義もぜひ公聴したかった。時間は限られているが、１つのものしか学べないのも惜しく感じる。
コロナに関して深く考えることができました。色んな知識も教えていただきありがとうございました。
すごく分かりやすく面白かったです。チャットで積極的に参加出来て良かったです。
自分で人生を決めていくって素敵だなと思いました。写真がたくさんあって見ていてわかりやすかったです！！
質疑応答の時間が多く、一つ一つ丁寧に反応してくださっていて、分かりやすく勉強になった。また途中て乱入してきた猫がとても可愛かった。
今世界を騒がせているコロナウイルスについての対策がわかった
新型コロナウイルスの感染拡大が引き起こした研究の世界の変化や、感染症と経済の関係、感染症と生活の関係について改めて考え直す良いきっかけになりました。
留学の持つ意義のようなものがわかったきがする。今に全力を尽くせないと、留学しても意味がないというのがとても心に残った。それだけに所々音声が聞き取れないのが非常にもどかしかった。
ソフトパワーが自分が研究したいテーマに似ていて、とても参考になりました。
ソフトパワーが自分たちおよび国にとっての強みとなることがよく分かった。
ZOOM の機能を活用しながら積極的に参加することができた。ソフトパワーという新たな分野の情報

を知ることが出来たのでいい経験になったと思う。また、自分が予想している以上に日本のソフトパワーが高かったことは驚きだった。
良かったです
科学技術だけではなく、それを最大限に活かすための社会システムが大切なのだと分かった。そう考えるとやはり文系理系などのくくりだけはなく、どちらの視点も大切なのだと感じた。
1 日目の基調講演で初めて聞き興味を持ったソフトパワーについてさらに深く知識が得られてとても良かったです。ソフトパワーの世界ランキングがとても面白かったです。
予期せぬ事態に対応する能力を培いたい。岡本さんのように自分のやりたいことを一つ残さず達成させ、その次にまわりの手助け(発表の機会を設けるなど)を将来したい。
今後自分たちのような若者に必要なことを議論されていて、活かしていきたいと思いました。
実際に岡本先生自身の体験を話されて、人は成功した時よりも失敗した時の選択がものすごく大切で自分はそこがとても重要だったという言葉が響きました。私は今高校生の立場で、成功にこだわっていたので価値観がとても変わりました。
ZOOM を活用し、チャット機能を利用した参加型のワークショップで、とてもよかった。宇津木先生の話や質問への回答が大変わかりやすく、とても楽しめた。たくさんの質問をして丁寧に答えてくださったのでたくさんメモさせていただきました。
現在、私達にとって身近なコロナによってのメリット、デメリットを考えることで感染症がもたらす影響を考えるキッカケとなった
ソフトパワーについてだけでなく、近藤さんのお話から、様々な話について知れたので、とても良い経験になりました。
接続が悪く、あまり聞き取ることができませんでした。申し訳ありません。
目標や目的を持って先を見据えて今努力することが大切だと心に留めておきたいです。
ジェンダー平等に向けて何を意識することが大切なのかがわかった。
難しかった。
岡本さんの話を聞いて、これからはなんでも挑戦しようと思った。理由は、岡本さんは人生一度きりという言葉を何度も言っており、確かに人生は一度だけなので何でもやりたいことをやってみようと思えた。また、留学をする際に重要なポイントを話しており、とても為になった。
ソフトパワーという言葉もあまり聞いたことがなかったが、昨日の基調講演を聞いてこのワークショップに参加してみたいと思った。日本が世界から見て魅力ある国だという事を知ることができたし、まだまだ日本もアプローチしていかなければいけないと感じた。
ソフトパワーという言葉を聞いたことがなかったけれど、先進国が必ずしも順位が高いわけではないことに驚いた。
留学を漠然としたいと考えていたが、目的を持つ必要があり、ないといくいみがないとおっしゃったので目的を見つけて行こうと思った。
いろんな物事に疑問を持つことが大事なんだなと思った。
ソフトパワーという、自分の知らない新たな概念を知ることができ、とてもよかったと感じました。日本は、ソフトパワーが強いとおっしゃっていました。また、日本が大切にしたほうがした方がいいソフトパワーは、今のソフトパワーを保つことだともおっしゃっていました。これらのことから、日本の文

化を保ち続けていけるように、将来貢献していけたらと考えます。
岡本様のオクスフォードでの素晴らしい体験談や留学への向き合い方の重要性についてとても貴重なお話を伺い、自分留学への覚悟の不足を感じたとともに、留学が自分にとっていかに大切なものになるかを考えさせて頂きました。
岡本先生の話を聞いて、目の前の物事を大事に凡事徹底して努力して、将来未来を創る人間に成長したいと思いました。
偶然が積み重なった必然というメッセージには、逆にそういった偶然を獲得できるような日頃のチャレンジを増やしなさいという教えが含まれているように感じた。
コロナをどう捉えるか、改めて考えるきっかけとなる有意義なお話でした。
私は女性問題について探究活動を進めているため、言葉の表現などがとても参考になった。
基調講演を伺って、是非またお話を伺いたいと思いました。日本の未来の姿を想像したいと思います。
女性科学者のリアルな日常をしれて、将来に近づけたので良かったです。
研究発表を踏まえて、自分の未熟さや世界の広さを改めて感じることができた。実際にその分野での経験がある方のお話だからこその言葉の説得力やリアリティがあって、現在の社会や自分、そしてこれからの社会と自分について考えるきっかけになった。
新型コロナウイルスに対する正しい知識の他にも講演者の仕事内容や価値観など様々な事を教えて下さいました。ありがとうございました。
外交官の仕事内容がイメージと違っていて面白かったです。
ソフトパワーという言葉を初めて聞いたのですが、ランキングを見て「日本は己を過小評価しているのだな」と思わせてもらえたので、自分自身のアイデンティティを以前より明確にできたと思います。たしかに日本は、積極性も満足するには至らず課題も多くありますが、それを覆すくらい世界に自分という文化を発信し、グローバル人材と呼ばれるような人物が増えていくと良いなと思いました。ありがとうございました。
違う立場からのお二人の話が非常に興味深かったです。
今回初めて聞いた「ソフトパワー」という言葉について詳しく学ぶことができました。国によってブランドや文化、環境などといった、異なるソフトパワーをもっているということを聞いて、各国の良さが改めて分かりました。それと同時に、日本の良さも再認識できたので、日本に誇りを持って過ごしていきたいです。
人生設計を考えることができて良かった。
新型コロナウイルスとは何なのかという、今とても熱い話題についてチャット機能を用いて、直に質問したり自分の考えを共有出来たのが良かった。
すごく分かりやすく面白かったです。チャットで積極的に参加出来て良かったです。
留学したからといって大きく成長するわけではない、大きく成長する人としない人に別れると言うことがわかった。自分の意見を伝えようとすることが大事だと思った。これからは多様な価値観に触れていこうと思った。
ソフトパワーというものについて初めて知ることができた.
シャーさんがかっこいい.
ソフトパワーという言葉を初めて聞いたのですが、ランキングを見て「日本は己を過小評価している

のだな」と思わせてもらえたので、自分自身のアイデンティティを以前より明確にできたと思います。たしかに日本は、積極性も満足するには至らず課題も多くありますが、それを覆すくらい世界に自分という文化を発信し、グローバル人材と呼ばれるような人物が増えていくと良いなと思いました。ありがとうございました。
ソフトパワーという、自分の知らない新たな概念を知ることができ、とてもよかったと感じました。日本は、ソフトパワーが強いとおっしゃっていました。また、日本が大切にしたほうがした方がいいソフトパワーは、今のソフトパワーを保つことだともおっしゃっていました。これらのことから、日本の文化を保ち続けていけるように、将来貢献していけたらと考えます。

10. その他感想

とってもいい経験が出来ました。来年は発表できるようになります
いろんな研究を見れて良かった。いろんな人を頼ろうと思う。
どうしてもオンラインだと、声や映像が乱れる場面も見受けられたが、そんな中でも皆さんが頑張って講演、発表していて、素晴らしい大会だなと感心した。
リモートでの発表だった為音声やカメラなどのトラブル等が時々あったが、なかなか充実した 2 日間で良かった
時期をもう少し早めたらいいとおもいます
高校生の研究は限られた設備の元で行うので大学レベルの研究には及ばず、大切なのは研究のレベルの高さではなく、それを周りの人にどのように伝えて社会とどのような結び付きがあるのかを分かりやすく伝えることだと思いました。
優秀賞が凄すぎて私達はまだまだだなーと感じた。
オンラインでやるのがもったいないくらいいい話ばかりでよかったです。ぜひ鹿児島に行きたかったと思って少し悲しいけどこれからの人生で必ず役に立つと思いました。企画、運営していただきありがとうございました。
資料、当日の運営含め、十分満足できました。ありがとうございました。運営は大変だったと思います。今後、実会場で開催になっても、一部にＷｅｂ参加の形を残していただければ、多くの生徒にこれを見せることができるので、ありがたいなあと思います。今後ともよろしくお願いします。
凄く自分の実になる経験であったと思うし、こんなに沢山の方々を集められていたことも凄いと思いました。ありがとうございました。
初めてこの大会に参加しましたが、自分の人生の中で忘れられない機会になったと思います。近い将来国際社会へと進む現代の私達にとって非常に為になる内容ばかりでした。是非また機会があれば参加し、より知識を、より出会いを増やしていけたらなと思います。本当にありがとうございました。
他校の発表を聞いてたくさんのことが学べることが出来ました。これを次の発表の時に活かしていきたいです。
やっぱり、直接会ってお話を聞いたりしたかったです。
宇津木先生の猫に全部持っていかれた。
リモート大会でも中身の濃い大会になった
努力が必要だと感じた。
全体的に見て非常に面白い内容で、参加することができて本当に良かったです。ただ、パネルディスカッションのパネリストに学生などの若い人がいるともっと面白いのではないかと思いました。
非常にレベルの高い大会で大変驚くと同時によい経験になったとおもう。私はまだ 1 年なので、来年度も更に研究を重ね参加したいと強く思った。改善点というか、疑問に思ったのが、課題研究の発表後に一度画面共有を切るのがなぜかよくわからなかった。理由があるならやむを得ないが、基本は共有したままの方がその後の質問・回答もしやすそうだと感じた。
楽しかったです。
同じ部門の、他の学校の発表が面白かった。

今回は新型コロナウイルスの影響で例年とは違う形での開催となり、慣れない操作で戸惑うことが多かったが、新たな発見や似た分野を研究している学生からの刺激が多く本当にいい体験ができました。ありがとうございました。来年度は受験があるので受験勉強に専念することになりますが、その後の大学での研究を考えると、受験勉強が楽しく思えてきました。
とてもいい経験になりました。
ネットの回線が悪かった。
発表の内容は各都道府県でそれぞれとても興味を持つものばかりで、もしコロナ禍じゃなかったらもっと楽しめたのかなと思いました。オンラインだとどうしても予期せぬ事が起きたりしたり、この大会に対しての意気込みも薄れた気がしたのでとても残念でした。
オンライン開催で機器の不具合等心配なことが増えたが、スムーズに、zoom や YouTube を活用して進んでよかった。自分にとって学び多い場になり、良い経験になった。
特にありません。来年度の開催も楽しみにしております。
ワークショップの質疑応答は自身の思いを伝えることができたので充実したものになりました。
未知の事柄について興味を持ち、様々な方向から客観的に見ることの大切さや事前知識の無い人にも分かりやすいプレゼン能力が身に付いた
私も、この国際シンポジウムを通して成長できたので、これからも自分に甘くせずに、頑張りたいです。
事前準備の際に、ポスターの提出で、審査員の方が見るようだとわからずだいぶ雑に作ってしまったので、そこが反省点でした。また、発表の仕方で良い研究もあまり魅力が伝わらなくなるということがわかったので、ないよう、発表ともに充実した研究ができるよう、改善に努めていきたいと思います。
質問などで、自分たちの抜け目などがわかった。また、他校の学校のプレゼンを聞いてプレゼンの仕方や内容など自分たちだけでは学べないことが学べてよかった。好奇心が高まった。
発表のレベルが高く、引き込まれた。緊張もしたが、楽しかった
レベルが高かった。グランプリに選ばれた方のプレゼンはすごく良かったです。
自分たちのチームはどの賞も貰えることはできなかったけど、今まで研究してきたことを全国に高校生や審査員の方達に発表でき、よかったよかったと思えた。また、次参加する際には賞をいただけるように頑張ろうと思えた。
初のバーチャルでお互い混乱した年でしたが、事前に変更の用紙などを配布してくださったおかげでより良いものができたと感じています。ありがとうございました。
この国際シンポジウムに参加することができて全国の高校生の研究発表を聞くことができて良かった。
次はぜひ対面で！
今回の大会の、全てが自分の糧になったと感じました。コロナ禍でも、このような大会を開催してくださりありがとうございました。
コロナにより、オンライン開催となりデジタルをうまく使いこなせない私からするとなかなか大変でしたが特別な経験となりました。優良賞を頂くことができ、大変うれしく感じております。
コロナ禍においても大会を継続実施して頂けていることが、まず何よりも大変ありがたいです。岡本先生はじめスタッフの皆様方に深謝申し上げます。生徒達にとって大いに成長の機会となりました。

フィードバックや有識者の講演などを通じて知的刺激を多く得られるよう工夫されている点も、貴大会の大きな長所だと思います。生徒だけでなく教員にとっても勉強になります。改善点というよりは要望ですが、もし生徒同士が自由に交流して友人になれるような時間がオンライン大会においても設定されるとありがたいです。毎年大変かと思いますが、ぜひ来年も参加したいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。
オンラインでありながら、進行がスムーズであった。普通に高校生として生活していたらお話ができなかったであろう、第一線で活躍されている方のお話が聞けてとても参考になった。
高校生が真剣に向き合っている姿に心を動かされました。学びの本来の姿はわくわく感や楽しさであることを様々な場面で伺い、今目の前にいる、色々な意味で苦しんでいる高校生たちの支援がしたいと切に思いました。今後とも学ばせていただきます。お世話になりました。ありがとうございました。
オンラインで画面だけの視聴は残念でしたが、どの発表、公演もとても勉強、良い刺激となり、素晴らしい二日間となりました。このような機会をいただき本当にありがとうございました。
オンライン上ではあるものの、緊張感がある大会だった。この大会に参加しなければほぼ必ず関わることがなかったであろうたくさんの人の発表・お話を聞くことができ、賞などはいただけなかったが、その悔しさだけでなく、満足感やこれからのモチベーションを得ることができた大会だったと思う。
オンラインでの開催でも十分に満足できるイベントだったと思います。開催までこぎ着けるのにご苦労も多かったと思いますが、生徒たちに発表する場を与えていただきありがとうございました。
初めてこの大会に参加しましたが、自分の人生の中で忘れられない機会になったと思います。近い将来国際社会へと進む現代の私達にとって非常に為になる内容ばかりでした。是非また機会があれば参加し、より知識を、より出会いを増やしていけたらなと思います。本当にありがとうございました。
初めてこんなに大規模な発表に参加しました。賞も取れて嬉しかったけれど、やっぱり１番大事なのは自分事に出来ているのかだと聞いて心に響きました。
発表者として参加できて、多くの刺激をもらえた大会になりました。審査員の方々の講評に関して、いろんな方からの意見を聞けたのはとても良かったのですが、要所要所で内容が被っていたり、ポスターの方の講評が少し端的に説明されていたので、オンライン開催だということもありますが、zoom などで分かれてからより詳しく「良かったところ」「ダメだったところ」を伺えたら良かったかなと思いました。このご時世なので、従来の大会とはまた違った形での運営となりましたが、不都合なく進めてくださった司会の方や審査員の方々、スタッフの皆さんにとても感謝したい思います。来年も開催します、と断言してくださりありがとうございました。楽しみにしています。今後ともよろしくお願いいたします。
全てにおいてとてもよかった。基調講演、審査員の方々のコメント、ワークショップやパネルディスカッションなど、勉強になることばかりだった。特に、審査員や岡本さんからの、生徒の研究に対する個々のフィードバックがとてもためになる。学校でどのように課題研究を指導するかの助けとなる。今後もそこがよくわかるようにしていただけると有り難いです。改善点は、初のオンライン開催ということで大変だったと思いますが、URL などは、メールや書類上では明記していただきたいです。「こちらから」とせずに。大変貴重な二日間でした。ありがとうございました。
音が途切れる、音が悪い等、難しいが改善すべきではある。
生徒とともに教室でほぼフル参加させていただきました。オンラインではありましたが、鹿児島で参

加した感覚を思い出しました。オンラインでもここまでしていただけるのかと感動しました。準備から実施まで大変だったことでしょうけど、高校生に素晴らしい舞台を与えて頂きありがとうございました。感謝申しあげます。1 年生でこのような発表する機会をいただけてまた来年に学びがつながったと思います。ところで可能ならばアーカイブとして今回参加できなかった生徒に見る機会を頂戴できたらありがたいです。接続のかくにの為に忙しい中、岡本先生には連絡頂きすみませんでした。今後ともよろしくお願いします。
全国の高校生が行っている課題研究を詳しく知れたことで、新たな発見ができたことに加え自分も頑張ろうという活力にもなりました。緊張したけれどそれ以上に自分を成長させられたと思うので、今回審査員の方に指摘された点を改善しながら研究をより良いものにしていきたいです。
Youtube LIVE の音声が聞こえなかった
YouTube live の環境を改善して欲しいです。
全体的にとてもレベルが高く、中身の濃い充実した 2 日間でした。
他校の発表を聞いてたくさんのことが学べることが出来ました。これを次の発表の時に活かしていきたいです。
他校の発表を聞いてまだまだだと思ったため改善点を見つけ出し、どのように言えば分かって貰えるのかを相手の立場として考えて言葉を考えていかなければいけないと思った。
審議者のマイクの音量を上げてほしい
生徒とともに教室でほぼフル参加させていただきました。オンラインではありましたが、鹿児島で参加した感覚を思い出しました。オンラインでもここまでしていただけるのかと感動しました。準備から実施まで大変だったことでしょうけど、高校生に素晴らしい舞台を与えて頂きありがとうございました。感謝申しあげます。1 年生でこのような発表する機会をいただけてまた来年に学びがつながったと思います。ところで可能ならばアーカイブとして今回参加できなかった生徒に見る機会を頂戴できたらありがたいです。接続のかくにの為に忙しい中、岡本先生には連絡頂きすみませんでした。今後ともよろしくお願いします。
今回の大会の、全てが自分の糧になったと感じました。コロナ禍でも、このような大会を開催してくださりありがとうございました。

発表タイトル一覧

スライド発表

学校名	研究テーマ	発表分野
岡山県立岡山一宮高等学校	化学発光による尿酸の定量の比較	④化学・地学
宮城県仙台二華高等学校	テレビ番組のタイトルの変遷とその分析	①社会科学
宮城県仙台二華高等学校	灰には糞便内の大腸菌群を死滅させる効果があるのか	④化学・地学
近畿大学附属高等学校	高校生と仏像～仏像鑑賞の効果から考える～	②地域・海外・芸術
金沢大学附属高校	神経新生における NUP153 の役割について	⑤生物
熊本マリスト学園高等学校	まちを歩けば空き家に当たる～空き家対策とまちづくり～ Research on Vacant Houses at Kumamoto local areas	②地域・海外・芸術
熊本県立済々黌高等学校	世界中の子供たちに子どもの権利を	②地域・海外・芸術
熊本県立鹿本高等学校	現代社会におけるポピュリズム政治に関する一考察	①社会科学
広島市立広島中等教育学校	宮島細工復興に関する現状と今後の可能性	②地域・海外・芸術
広尾学園高等学校	現象数理学的に考える COVID-19 における接触を減らすことの意義	③数学・物理
広尾学園高等学校	感情認識を目的とした音声波形のフーリエ解析	③数学・物理
広尾学園高等学校	4 次対称群のハッセ図を立体で捉え、置換を表すあみだくじの個数を数える	③数学・物理
広尾学園高等学校	平方因子の有無を判別するアルゴリズムの開発と改良	③数学・物理
広尾学園高等学校	背側線条体ドーパミン D2 受容体陽性中型有棘神経細胞の活動は体動と関連する	⑤生物
江戸川学園取手高等学校	ケプラーの法則を用いた富士山の位置の算出	③数学・物理
香川県立高松北高等学校	庵治石産地に新たなイメージを吹き込むことで始まる地域創生	②地域・海外・芸術
高知県立高知小津高等学校	フリーズドライ牛乳の実用性に向けた溶解特性に関する研究	④化学・地学
三田国際学園高等学校	PET (Polyethylene terephthalate) を分解できる微生物を人工的に作り出す	⑤生物
市川学園　市川高等学校	規格外野菜のセルロース繊維を用いた生分解性の折り紙の作成	④化学・地学
志學館高等部	オープンデータを利用した駅間 OD 表の推計	③数学・物理
鹿児島県立錦江湾高等学校	マスクをするとなぜ苦しいのか	③数学・物理
鹿児島県立錦江湾高等学校	インクジェットプリンターを用いた指紋検出の開発	④化学・地学
鹿児島県立錦江湾高等学校	屋久島におけるヤンバルトサカヤスデの伝播傾向と移動の特徴	⑤生物

鹿児島県立甲南高等学校	みんなに届け防災情報	③数学・物理
鹿児島県立甲南高等学校	災害時の在 鹿 外国人を救うためのやさしい日本語拡充	②地域・海外・芸術
鹿児島県立甲南高等学校	カマキリの餌認知の分析	⑤生物
鹿児島県立甲南高等学校	酸化チタン光触媒による揮発性有機化合物の分解反応	④化学・地学
鹿児島県立甲南高等学校	レイプ神話受容の対策としての高校における性教育 に関する考察	①社会科学
鹿児島県立国分高等学校	国分平野に推定されている活断層の位置を特定するには？～ボーリングデータから地下構造を探る～	④化学・地学
鹿児島県立曽於高等学校	なぜ止まっているのだ!!!ネオジウム磁石球よ	③数学・物理
鹿児島県立曽於高等学校	カマキリの体内に潜む寄生虫についてⅥ ～ハリガネムシの形態を決定する要因の解明～	⑤生物
鹿児島修学館高等学校	成長し続ける作品	②地域・海外・芸術
芝浦工業大学柏高等学校	日本の虐待を減らすために　～ニュージーランド式 FGC の理念から考える～	①社会科学
淑徳与野高等学校	保育所保育指針から見る子どものジェンダーバイアス	①社会科学
神村学園高等部	臨時教職員の負担を軽減するには	②地域・海外・芸術
大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎	ユーグレナパラミロンのエステル誘導体を用いた複合マテリアルの作成と評価	④化学・地学
大阪府立岸和田高等学校	日本の終末期医療の改善～患者の希望を叶えるには～	①社会科学
大阪府立富田林高等学校	淡水クラゲの生存戦略－脱固着する理由	⑤生物
大阪府立富田林高等学校	ゲンジボタルが三面コンクリート水路に生息できた理由	⑤生物
長崎県立長崎東高等学校	感染症予防ハンドケア用品の開発	④化学・地学
鳥取県立倉吉東高等学校	その名は日本一停留所の多い路線バス	②地域・海外・芸術
鳥取県立倉吉東高等学校	鳥取県中部地域におけるオヤニラミの生態調査	⑤生物
鳥取県立鳥取西高等学校	毛の生えたカタツムリ ～オオケマイマイの殻皮の特性解析～	⑤生物
東京都立大泉高等学校	ボランティア活動への意欲から紐解く女子校の可能性	①社会科学
兵庫県立加古川東高等学校	天井川の形成要因と形成過程の解明	④化学・地学
兵庫県立加古川東高等学校	ビル風を利用した垂直軸型風車の効率的な配置案の検討	③数学・物理
名城大学附属高等学校	KP（knowledge＆pad）で共栄！ ～途上国の女子のキャリア形成に向けた布ナプキン支援と月経教育の普及～	②地域・海外・芸術
明星高校	企業の海外進出に伴う外国公務員贈収賄増加についての考察	①社会科学
明法高等学校	民間用ドローンに対する日本の制度改正の必要性	①社会科学
明法高等学校	日本における外国人参政権欠如に対する解決の提案と考察	①社会科学

ポスター発表

学校名	研究テーマ	発表分野
岡山一宮高等学校	化学反応速度用の実験教材の開発	⑥環境・化学
岡山県　山陽学園高等学校	私たちの瀬戸内海「ブルーオーシャンプロジェクト」～海洋ごみ問題を「自分事化」する取り組み～	⑥環境・化学
宮城県仙台二華高等学校	アンコールクラウ村を対象とした簡易ろ過装置の分層化について	⑥環境・化学
宮城県仙台二華高等学校	屋台の比較研究　―日本とタイを中心に―	③国内・国外社会課題
宮城県仙台二華高等学校	宮城県塩竈市における技能実習生を取り巻く環境	②地域課題
熊本マリスト学園高等学校	待機児童問題をもう一度問い直す　Rethinking the children on the potential waiting list for Day care	③国内・国外社会課題
熊本県立玉名高等学校	古典作品やディズニープリンセスから読み解く 女性の理想像と女性の社会進出問題について	③国内・国外社会課題
熊本県立済々黌高等学校	プラごみ問題解決への提案	⑥環境・化学
熊本県立鹿本高等学校	高校生が贈る！山鹿の魅力まるごと発信＆発見ツアー企画による山鹿市の観光振興への提案	②地域課題
佼成学園女子高等学校	ニュージーランドの青年評議会において若者が与える社会的効果	③国内・国外社会課題
佼成学園女子高等学校	渋谷区の路上喫煙問題について	②地域課題
佼成学園女子高等学校	他民族を通して見るアイヌ民族の文化継承のあり方について	②地域課題
佼成学園女子高等学校	Support for people with disabilities and their employers	②地域課題
佼成学園女子高等学校	SNS 犯罪防止教育のあり方	①教育
広尾学園高等学校	SIR モデルを用いた塾生数の動向	④数学・物理
広尾学園高等学校	自発目標設定と,行動抽象化により性能の向上ができる 2 つの深層強化学習モデルの開発検証	④数学・物理
高知県立高知小津高等学校	モンティ・ ホール問題の一般化	④数学・物理
高知県立高知小津高等学校	清涼飲料水と脱灰作用　～唾液の保護効果～	⑤生物
高知県立高知小津高等学校	Ａｉの可能性～医療分野と防災分野の融合～	③国内・国外社会課題
高知県立高知小津高等学校	糖と溶解度の関係	⑥環境・化学
佐賀県立鹿島高等学校	「我が故郷太良町の活性化に向けた提案～魅力を届ける PRcar の活用～」	②地域課題
埼玉県立浦和第一女子高等学校	フィリピンのストリートチルドレンの支援について	③国内・国外社会課題
三田国際学園高等学校	パターン認識を用いた微生物単離法の探索	⑤生物
三田国際学園高等学校	手書き文字における認識率向上のための処理について	④数学・物理

三田国際学園高等学校	HHO ガスの植物への効果と光合成との関わり	⑥環境・化学
山梨県立甲府西高等学校	尿はねを防ぐ	④数学・物理
市川高校	音の振動数と起電力の関係による音力発電実用化の考察	④数学・物理
自由ケ丘高等学校	女性起業家がつくるジェンダー平等	③国内・国外社会課題
鹿児島県立錦江湾高等学校	BS アンテナで局地的豪雨予報	④数学・物理
鹿児島県立錦江湾高等学校	クロマダラソテツシジミの生態について	⑤生物
鹿児島県立甲南高等学校	奄美大島の廃棄バガスから紙や紙製品を作ってバガスをリサイクルできるか	⑥環境・化学
鹿児島県立甲南高等学校	循環型生分解性レジ袋が水系生態に及ぼす影響	⑤生物
鹿児島県立甲南高等学校	パキスタンの農村部における 女子初等教育の普及	①教育
鹿児島県立国分高等学校	セミの抜け殻は語る ～気象条件との関わりに重点をおいて～	⑤生物
鹿児島県立国分高等学校	スズムシの鳴き声におけるうなりについて	④数学・物理
鹿児島県立国分高等学校	放置竹林解決に向けた提案	②地域課題
鹿児島県立大島高等学校	リサイクル率向上で美しい奄美に	②地域課題
鹿児島修学館高等学校	十島村に自衛隊を誘致することは十島村の医療体制の充実につながるのか	②地域課題
鹿児島修学館高等学校	自宅の自転車を用いた意欲向上への取り組み　-フィットネスクラブとの連携-	③国内・国外社会課題
芝浦工業大学柏高等学校	早期英語教育の効果 ～外国語活動はどのように変わるべきか～	①教育
芝浦工業大学柏高等学校	ナイロン 6 の分子量と物性の考察	⑥環境・化学
芝浦工業大学柏高等学校	浮体式洋上風力発電機の安定性～浮体の形状と復原力の関係～	④数学・物理
芝浦工大柏高校	土の基本的性質の変化と液状化発生条件の関係	④数学・物理
新潟県立津南中等教育学校	東日本大震災の記録から推察する津南中等の地理的予測と対策	③国内・国外社会課題
新潟県立津南中等教育学校	津南町の特性にあった地域創生計画について	②地域課題
神村学園高等部	公立小学校の学力向上～新聞活用学習を通して～	①教育
神村学園高等部	塩害環境下において植物が生育できる土壌作り	⑥環境・化学
神村学園高等部	日本における子宮頸がんワクチンの接種について	③国内・国外社会課題
神村学園高等部	フィリピン・セブ州から学ぶ貧困解決へのアプローチ	③国内・国外社会課題
大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎	ミドリムシを果汁で培養することは可能なのか	⑤生物
大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎	ミドリムシの新規培養方法の最適化	⑤生物

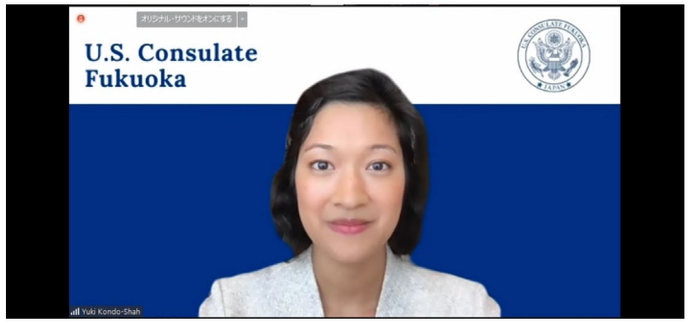
大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎	納豆の成分を用いた水質浄化	⑥環境・化学
大阪教育大学附属高等学校平野校舎	ブータン王国のゾンカ語の普及に向けて	③国内・国外社会課題
大阪府立富田林高等学校	アメリカツノウズムシが尾を切る理由	⑤生物
大阪府立富田林高等学校	ヒトの威を借るツバメの営巣	⑤生物
筑紫女学園高校	CO_2分離膜による気候変動の抑制：分離膜の作成と評価	⑥環境・化学
長崎県立諫早高等学校	地元の人が諫早のみかんを楽しむきっかけづくり	②地域課題
長崎県立長崎東高等学校	カゼインプラスチックで作るより良い世界	⑥環境・化学
長崎県立長崎東高等学校	医療につながるピクトグラム	③国内・国外社会課題
鳥取県立倉吉東高等学校	日本人と 台湾人の英語に対する考え方の違い	①教育
東京都立大泉高等学校	生育環境及び発芽からドクダミの生態を探る	⑤生物
東京都立調布南高等学校	サッシ実測アプリの開発とそれにより得られる効果の検証	④数学・物理
東京都立南多摩中等教育学校	相模湾における津波の危険性評価	⑥環境・化学
福山暁の星女子高等学校	ウメノキゴケ属がサクラを衰退させるナラタケモドキの増殖を抑制する可能性の検討	⑤生物
兵庫県立姫路西高等学校	妖怪を媒介とした持続可能な自然災害の伝承教育方法の構築	①教育
兵庫県立姫路西高等学校	微生物を利用した食品保存の可能性	⑤生物
兵庫県立姫路西高等学校	ローラーによる自己発電システム構築でエネルギーへの持続可能な意識改革！	④数学・物理
名古屋経済大学市邨高等学校	高等学校での継続的なボランティア活動の推奨	①教育
名古屋経済大学市邨高等学校	高校生が積極的にボランティア活動に参加できる環境についての考察	①教育
名城大学附属高等学校	How to solve worries with scoliosis patients	①教育
名城大学附属高等学校	在日外国人を含めた地域コミュニティの確立　～地域防災・減災を促す～	②地域課題
名城大学附属高等学校	福祉レクリエーションワーカーによる学校での思考型授業の展開の提案	①教育
明星高等学校	プラナリアの切断前と切断後の個体における記憶伝達の正確性	⑤生物
明星高等学校	社会的要因が日本の高校生のこころに与える影響について	①教育

（別紙）第六回高校生国際シンポジウム審査結果

スライド発表

発表分野	順位	学校名	タイトル	発表者			
①社会科学	最優秀賞	大阪府立岸和田高等学校	日本の終末期医療の改善～患者の希望を叶えるには～	遊木 愛沙	若林 咲良		
	優秀賞	鹿児島県立甲南高等学校	レイプ神話受容の対策としての高校における性教育 に関する考察	清永 亜弥			
	優良賞	宮城県仙台二華高等学校	テレビ番組のタイトルの変遷とその分析	安倍 千晴			
②地域・海外・芸術	最優秀賞	**鳥取県立倉吉東高等学校**	**その名は日本一停留所の多い路線バス**	**亀井 俊佑**			
	優秀賞	鹿児島県立甲南高等学校	災害時の在鹿外国人を救うためのやさしい日本語拡充	増田 海亜			
	優良賞	香川県立高松北高等学校	庵治石産地に新たなイメージを吹き込むことで始まる地域創生	吉川 基稀	土谷 凛	冨重 嵩登	高田 樹
③数学・物理	最優秀賞	広尾学園高等学校	4次対称群のハッセ図を立体で捉え、置換を表すあみだくじの個数を数える	石川 宙	小室 沙和	柳澤 美沙	
	優秀賞	鹿児島県立曽於高等学校	なぜ止まっているのだ!!!ネオジウム磁石球よ	水口 雅貴	木田 玲司		
	優良賞	江戸川学園取手高等学校	ケプラーの法則を用いた富士山の位置の算出	髙岸 琴子	角 明音	塩田 奈桜	端 優利香
	優良賞	兵庫県立加古川東高等学校	ビル風を利用した垂直軸型風車の効率的な配置案の検討	泉 勇毅	一水 信之介	筒井 真見	山下 凌輝
④化学・地学	最優秀賞	市川学園　市川高等学校	規格外野菜のセルロース繊維を用いた生分解性の折り紙の作成	栗本 朱莉			
	優秀賞	高知県立高知小津高等学校	フリーズドライ牛乳の実用性に向けた溶解特性に関する研究	中嶋 美涼	門田 心渚	藤澤 華子	
	優良賞	兵庫県立加古川東高等学校	天井川の形成要因と形成過程の解明	近藤 優太	竹山 悠斗	長尾 陸史	野濵 奈佳
⑤生物	最優秀賞	広尾学園高等学校	背側線条体ドーパミンD2受容体陽性中型有棘神経細胞の活動は体動と関連する	今田 倫太郎			
	優秀賞	鳥取県立鳥取西高等学校	毛の生えたカタツムリ　－オオケマイマイの殻皮の特性解析－	廣富 育	井上 大地	林 和花	
	優良賞	鹿児島県立曽於高等学校	カマキリの体内に潜む寄生虫についてⅥ ～ハリガネムシの形態を決定する要因の解明～	宮元 健士朗	宮田 彩代	栗屋 衣里	

＊太字はグランプリ受賞者



ポスター発表

発表分野	順位	学校名	タイトル	発表者			
①教育	最優秀賞	鹿児島県立甲南高等学校	パキスタンの農村部における 女子初等教育の普及	上村 日詩			
	優秀賞	芝浦工業大学柏高等学校	早期英語教育の効果 ~外国語活動はどのように変わるべ きか~	大保 双葉			
	優良賞	佼成学園女子高等学校	SNS 犯罪防止教育のあり方	峯田 梨花	宮澤 史依		
②地域課題	最優秀賞	鹿児島県立国分高等学校	放置竹林解決に向けた提案	木村 有里彩	小山 愛叶	迫田 真歩	藤垣 海星
	優秀賞	佼成学園女子高校	What is the most effective way to revitalize Ainu culture?	吉見 早莉奈			
	優良賞	佼成学園女子中学高等学校	Support for people with disabilities and their employers	前田 菜月			
③国内・国外社会課題	最優秀賞	大阪教育大学附属高等学校平野校舎	消滅危機言語を守る　ブータン王国におけるゾンカ語の普及に向けて	安西 舞子	古澤 佑優花	宮本 夢菜	渡邊 央
	優秀賞	長崎県立長崎東高等学校	医療につながるピクトグラム	秋山 琴美	古賀 愛菜	井上 七海	吉田 椛乃
	優良賞	新潟県立津南中等教育学校	東日本大震災の記録から推察する津南中等の地理的予測と対策	飯塚 椿	上村 琴葉	桑原 由妃	
④数学・物理	最優秀賞	芝浦工業大学柏高等学校	浮体式洋上風力発電機の安定性～浮体の形状と復原力の関係～	髙見 陽菜			
	優秀賞	三田国際学園高等学校	手書き文字における認識率向上のための処理について	鈴木 悠奈			
	優良賞	市川学園　市川高等学校	音の振動数と起電力の関係による音力発電実用化の考察	長竹 実範	戸谷 亮太		
⑤生物	最優秀賞	福山暁の星女子高等学校	ウメノキゴケ属がサクラを衰退させるナラタケモドキの増殖を抑制する可能性の検討	海野 理紗	太田 珠々	小川 ゆき	
	優秀賞	三田国際学園高等学校	パターン認識を用いた微生物単離法の探索	津田 賢太郎	細屋 有美香		
	優良賞	東京都立大泉高等学校	生育環境及び発芽からドクダミの生態を探る	工藤 清佳			
⑥環境・化学	最優秀賞	大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎	納豆の成分を用いた水質浄化	井上 侑紀	伊藤 桃子	髙橋 かなで	横谷 怜士
	優秀賞	筑紫女学園高校	CO2分離膜による気候変動の抑制:分離膜の作成と評価	中嶋 彩香			
	優良賞	山陽学園高等学校	私たちの瀬戸内海「ブルーオーシャンプロジェクト」～海洋ごみ問題を「自分事化」する取り組み～	川西 天佑	児山 琉星	徐 錦	杉本 拓弥

①都道府県：22都道府県
宮城県，山梨県，茨城県，千葉県，埼玉県，東京都，新潟県，石川県，愛知県，大阪府，兵庫県，鳥取県，岡山県，広島県，香川県，高知県，福岡県，佐賀県，長崎県，熊本県，宮崎県，鹿児島県
②学校：56校（前回:43校）
宮城県仙台二華高等学校，新潟県立津南中等教育学校，金沢大学附属高校，山梨県立甲府西高等学校，江戸川学園取手高等学校，市川学園　市川高等学校，芝浦工業大学柏高等学校，埼玉県立浦和第一女子高等学校，淑徳与野高等学校，佼成学園女子中学高等学校，三田国際学園高等学校，東京都立調布南高等学校，東京都立南多摩中等教育学校，明星高等学校，明法高等学校，東京都立大泉高等学校，広尾学園高等学校，名古屋経済大学市邨高等学校，名城大学附属高等学校，近畿大学附属高等学校，大阪教育大学附属高等学校平野校舎，大阪府立岸和田高等学校，大阪府立富田林高等学校，大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎，兵庫県立加古川東高等学校，兵庫県立姫路西高等学校，鳥取県立倉吉東高等学校，鳥取県立鳥取西高等学校，岡山県立岡山一宮高等学校，山陽学園高等学校，広島市立広島中等教育学校，福山暁の星女子高等学校，香川県立高松北高等学校，高知県立高知小津高等学校，高知県立高知西高等学校，自由ケ丘高等学校，福岡県立城南高等学校，筑紫女学園高校，佐賀県立鹿島高等学校，長崎県立長崎東中学校・高等学校，長崎県立諫早高等学校，熊本マリスト学園高等学校，熊本県立鹿本高等学校，熊本県立玉名高等学校，熊本県立済々黌高等学校，宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校，宮崎大宮高等学校，宮崎県立高鍋高等学校，学校法人神村学園高等部，鹿児島県立錦江湾高等学校，鹿児島県立甲南高等学校，鹿児島県立国分高等学校，鹿児島県立曽於高等学校，鹿児島県立大島高等学校，鹿児島修学館高等学校，志學館学園志學館高等部
③総申し込み数：202（スライド発表：142，ポスター発表：60，総生徒数427名）．（前回:157件）
④書類審査通過数：124（スライド発表：50，ポスター発表：74）．
＊応募多数につきポスター発表の分野を追加し．スライド5分野，ポスター6分野とした．